

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

第 24 号
平成12年(2000年) 7月

平成十二年度総会

事業・予算などを決定

宇治市国際親善協会の平成十二年度総会が、四月二十九日に宇治市役所八階大会議室で、会員一七三名(うち委任状出席一四三名、会員数二六〇名)の出席のもと、開かれました。議事の内容は次のとおりです。

まず、平成十一年度事業報告案および収支決算案があらわして審議され、可決されました。次に、平成十二年度事業計画案および予算案もあわせ

名誉副会長・新監事決まる

宇治市国際親善協会規約第8条に名誉副会長を加えるという改正について審議され、可決されました。また、監事の平田泰彦氏の辞任に伴い、新監事が選出されました。これからの国際交流に向けて、よろしく願います。

名誉副会長

小牧 直人

監事

向井 祥夫

(敬称略)

て審議され、可決されました。平成十一年度収支決算および平成十二年度予算は次頁の別表のとおりです。

総会でいろいろな意見が出る中、咸陽市、カムループス市との交流は深まっているが、ヌワラエリヤ市との交流の見通しはどうなっているのか、という質問や、会員の数をもっと増やす努力をしようといった提案が出ました。

ヌワラエリヤ市は、現在内戦が続いており、公式訪問団の派遣が難しい状態です。一日も早く内戦が終結し、訪問団が派遣できるよう願っています。



総会で出た意見を参考に、当協会では一人でも多くの方が気軽に参加できる事業や活動を中心に積極的に実施していこうと考えています。

今年度の主な事業

国際親善協会ニュースの発行 約五〇〇部を発行し、会員の皆様や関係団体にお配りします。年四回の発行を目指し、より一層内容の充実を図っていきたく思っております。当ニュースや国際親善に関することで、体験談やご意見など、会員の皆様からの記事の提供をお待ちしています。ご協力をお願いします。

語学講座

中国語(初級:定員十五名)、英語(初級:定員二十五名)の二コースを実施します。

期間 平成十二年十月〜平成十三年三月・合計十六回

会費 会員の皆様は八千円

*詳しくは、市政だより(十月頃発行)をご覧ください。
ボランティア養成講座

当協会が目指す市民の草の根交流の核となる人を養成するために会員・市民の方を対



象に開催します。今年度は昨年度に引き続き、ホームステイ講座を実施します。

開催時期は平成十二年秋頃を予定しております。

*詳しくは、市政だより(十月頃発行)をご覧ください。

宇治市内留学生市内探訪ツアー
今年度は宇治市内の留学生を対象に開催します。

開催は平成十二年十一月頃を予定しておりますのでホームステイのご協力をお願いします。

講演会開催

今年度も講演会を開催する予定です。詳しいことは未定ですが、決まり次第お知らせします。

* * * * *

この他にも多くの事業を実施する予定です。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

平成11年度 宇治市国際親善協会収支決算

ホームステイを受け入れて

カムループス・サッカーチームとの交流

5月11日(木)～16日(火)、カムループス市と宇治市の友好都市盟約締結10周年を記念して、カムループス市助役を団長とするオールドタイマーサッカーチームが宇治市を訪れました。サッカーチームのメンバーは宇治市内の家庭にホームステイをし、友好の絆を深めました。ホストファミリーをしてくださった一人、谷万昌さんがその時の感想文を寄せてくださいました。本当にありがとうございました。

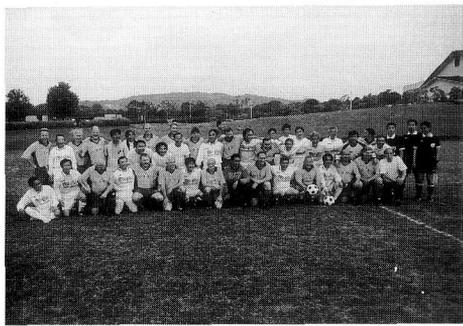
なお、熱戦の結果は、カムループス市の2勝1敗でした。

宇治サッカー協会 谷 万昌

今回で二回目のホームステイを受け入れる事になりました。言葉のハンデはあるものの、お互いに「サッカーをやっている者」という共通点があるおかげでなんとか気持ちを通じ合えたと思います。

昼間の交流試合や夜の歓送迎会・選手交流会では全てのメンバーと楽しい時間を過ごすことが出来ました。我が家に帰ってからも短い時間でしたが、家族を交えて辞書を片手にお互いの家庭や仕事の話などいろんな事について理解し合えたと思っています。

機会があれば今後もホームステイにチャレンジしたいと考えています。ありがとうございました。



収入の部

項目	当初予算額	収入済額	説明	金額
1 会費	787,000	715,000	1 個人会員 @ 2,000×175口	350,000
			2 団体会員 @ 5,000×21口	105,000
			3 法人会員 @10,000×26口	260,000
			4 過年度分	0
2 補助金	2,000,000	1,209,262	1 宇治市補助	500,000
			2 訪問団派遣事業補助	502,762
			3 京都府国際センター助成	200,000
			4 生涯学習センター助成	6,500
3 負担金	320,000	296,000	1 語学講座参加者負担金	
4 雑入	1,000	465	1 預金利息	
5 繰越金	1,142,600	1,142,600	1 前年度繰越金	
合計	4,250,600	3,363,327		

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	説明	金額
1 会議費	50,000	0		
2 報償費	80,000	10,000	1 餞別	
3 事務費	300,000	125,830	1 消耗品費	18,210
			2 通信運搬費	18,370
			3 印刷製本費	89,250
4 事業費	3,550,000	2,438,760	1 会報発行(3回分)	149,490
			2 語学講座	505,220
			3 日本語基礎講座	859,157
			4 ホームステイ講座	73,420
			5 提携事業	90,000
			6 友好都市交流事業	502,762
			7 きょうと探訪留学生ツアー	29,523
			8 来訪者歓迎	229,188
5 予備費	270,600	0		
合計	4,250,600	2,574,590		

収入総額3,363,327円から支出総額2,574,590円を差し引いた残額788,737円は翌年度へ繰り越します。

平成12年度 宇治市国際親善協会予算

収入の部

項目	当初予算額	説明	金額
1 会費	770,000	1 個人会員 @ 2,000×200口	400,000
		2 団体会員 @ 5,000×25口	125,000
		3 法人会員 @10,000×22口	220,000
		4 過年度分	25,000
2 補助金	3,500,000	1 宇治市補助	500,000
		2 訪問団派遣事業補助	3,000,000
3 負担金	400,000	1 語学講座参加者負担金	
4 雑入	1,000	1 預金利息	
5 繰越金	788,737	1 前年度繰越金	
合計	5,459,737		

支出の部

項目	当初予算額	説明	金額
1 会議費	50,000	1 総会・理事会・運営部会等	
2 報償費	50,000	1 講演会等講師謝礼	
3 事務費	200,000	1 消耗品費	100,000
		2 通信運搬費	50,000
		3 印刷製本費	50,000
4 事業費	4,980,000	1 会報発行(4回)	200,000
		2 語学講座(中国語・英語)の開催	500,000
		3 日本語基礎講座の開催	900,000
		4 ボランティア養成講座	100,000
		5 各種団体との提携事業	120,000
		6 友好都市交流補助事業	3,000,000
		7 来訪者歓迎事業	160,000
5 予備費	179,737	1 予備費	
合計	5,459,737		

スリランカ友の会

美しい民族衣裳でスリランカ舞踊

現在開催されている「ジャパン・フローラ 二〇〇〇 淡路花博」の会場に近隣諸国の庭園があります。白い大きな仏像と椰子の葉葺きで土壁作りの民家を配置した質素な庭園、それがスリランカ庭園です。

この庭園は、宇治市でスリランカ料理店を経営していたナレンドラさんが、母国の名誉観光局長として取り組まれたものです。

そのナレンドラさんから、「スリランカ友の会」に花博の最初のナショナル・デーである四月九日の『スリランカ



・デー」にスリランカ舞踊の出演依頼があり、国際親善協会事業として「友の会」の二十六名の皆さんの協力で花博を訪れた人達に舞踊を披露しました。

「友の会」の皆さんは、スリランカの国内事情で途切れているヌワラエリヤ市との交流事業として、舞踊以外にもスリランカ料理や民芸品の展示・即売コーナーで手分けして協力され、終日スリランカ・デーの主役として大活躍されました。

その後、この日の感想を「友の会」の今村周子さんと多田きみ子さんが当協会まで寄せてくださいましたのでご紹介いたします。どうもありがとうございました。

淡路花博スリランカ・デーに参加して

今村 周子

「スリランカ友の会」は宇治市民とスリランカの人達との交流を進めるため、一九八六年に発足しました。友の会では「食」と「民族衣裳」を通

じてお互いの理解を深めようと、料理教室や舞踊サークル等を企画して参りました。

四月九日、淡路花博「スリランカ・デー」には「ふれあいステージ」でスリランカダンスを午前と午後の二回披露しました。

晴天に恵まれ、明るい舞台上でみんなの衣裳も映え、日頃の練習の成果を十分に発揮することができました。観ていただいた多くの人達にスリランカ文化の一端に触れて頂いたと思います。

花博会場の花を観る暇もありませんでしたけれど、晴の舞台で無事踊ることが出来たのも、親善協会の方、市民の方々のご支援の賜と感謝いたしております。

笑顔忘れず踊ったスリランカ舞踊

多田 きみ子

まだ、淡路花博が始まって半月余りの四月九日早朝、スリランカ・デイに出演する為バスで一路淡路島へ向かいました。



開場前で別の入口から舞台裏へ廻り、今日の予定を説明されました。午前一回二曲、午後も同じです。サア大変。

「紅茶摘み」の時はインディアンスタイル、「マウスガンディア」は少し派手なサーリーでキャンディスタイルと替える為、大勢の方に手伝って頂かなければ自分一人では着られないので必死でした。時間になり、足首の鈴を鳴らしながら舞台の袖へ。客席を見ると周囲も立っている人で一杯でした。笑顔を忘れないよう、一同がんばりました。ホッとしながら衣裳替えです。その間に観客の中でサーリーを試着してみたい人七名が舞台で挑戦。こちらも奮闘し、無事午前の部は終了しました。

午後も二曲踊り、そのまま会場へ出て、スリランカ館等近辺を歩きました。サーリー姿が珍しく、話しかけられたりカメラに納まったりしました。

* * * * *

「友の会」では、披露したような舞踊を練習しています。月二回のレッスンも手首の使い方等むつかしいですが、楽しく汗を流しています。異文化に触れ、学習しながら色々なイベントに声をかけて頂いております。

会費納入のお願い

平成十二年度の会費の納入をお願いします。当協会の運営は皆様の会費によって成り立っています。会の運営や活動を活発にするためにも、どうぞよろしくお願いします。

会費

- 個人会員 二千円
- 団体会員 五千円
- 法人会員 一万円

振込先

京都銀行：宇治支店・普通預金 678459

南京都信用金庫：本店・普通預金 907725

* いずれも受取人は「宇治市国際親善協会」です。

咸陽市公式訪問団

壮大な中国の歴史に脱帽

平成十二年五月十八日から二十五日にかけて、堂端明雄宇治市助役を団長とする咸陽市公式訪問団二十名（行政訪問団：五名・市民訪問団：十五名）が咸陽市などを訪問しました。

五月十九日

茂陵博物館を見学。私、こは二度目のはず？ 記憶がよみがえるまで三十分ほどかかった。その後、高廟小学校訪問をしたが、生徒のバンド演奏で大歓迎され、三十五度を超える気温の中、グラウンド

帰国後、訪問団員の源城政好氏が訪問記を書いてくださいました。宇治市歴史資料館の館長をされている源城氏は大の中国好きで、今までに七回も中国に行かれたことがあ

ので歓迎式典があったが、四百名近い生徒は私語を交わすことなく参列、その姿に団員一同感嘆。感嘆といえば、授業も一クラス八十名近い状態で、整然と行われているのにびっくり。乾陵を見学した後、ホテルに戻ると、咸陽市長以下市幹部の方がお出迎えくださっていた。両市のエール交換やおみやげ交換後、歓迎晩餐会にご招待いただいた。古楽器による演奏の中、感激して踊り出す団員出現。



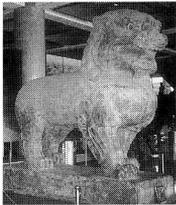
ポर्ट検査があり、これで入国審査が終わったと思っていた。ら、咸陽でもしっかり入国審査

五月二十日

兵馬俑博物館・華清池・大雁塔・陝西省歴史博物館の見学。秦の始皇帝の強大な権力に驚き、玄宗皇帝と楊貴妃のロマンスに夢をはせ、七層の階段に息を切らせ、中国の歴史の壮大な様に脱帽で、その日は終了。

五月二十一日

渭濱公園で友好記念碑などを見学後、空路北京へ。高速道路のおかげで空港から北京市内は二十分程度で結ばれてしまっている。天安門広場・景山公園を散策したが、公園ではあちこちで合唱練習、近々市民大会でもあるのか、はたまた流行現象か。夕食は海鮮料理、野菜を三皿もおかわりしたのは誰だ。夜は、北京の四条河原町、王府井にお出かけ。帰りは人力車を連ねて市民の注目を浴びる。



大歓迎され、三十五度を超える気温の中、グラウンド

五月二十二日

万里の長城、ここは新京極かと錯覚する程の観光客に囲まれて登り、明の十三陵の一つ、定陵の地下宮殿への階段の多さに閉口しながら、夜は北京ダックを満喫。

五月二十三日

五月二十四日



故宮見学、映画ラストエンペラーの場面を思い出しながら感動。空路上海へ。高速道路を疾走する外車の多さにびっくり。大都会上海は時間単位で変貌を遂げている様子。夜は雑技団のサーカスを観劇。

五月二十五日

玉仏寺・人民広場・豫園の見学。途中、薬局に立ち寄り、少し疲れの出始めた体をほぐしてもらって、高い？漢方薬を買って、また友誼商店に向いてショッピング。店員一人を相手に、値切りたおしていたのは誰だ。夜は黄浦江をナイトクルーズ。上海の美しい夜は、「更けゆく♪♪」（西田佐知子風で）。

感雑観雑

UIFAニュースの編集に携わって一年余りになります。今年度は、年四回の発行を目指して多くの方に読んでいただ

るニュースを作っていくたいと考えています。▼編集して

いて思うことは、皆様からの記事の提供が紙面を作る上で非常に大切だということです。第二十四号も、多くの方からお便りをいただき、とても楽しい紙面を作ることができました。お便りを読んでいると、皆さん非常に自然体で国際交流を楽しまれており、基本は人と人の繋がりであるということがよく伝わってきます。多くの人にこのような素晴らしい経験をしていただきたいと思えます。▼これからも当協会に寄せられたお手紙などを数多く掲載し、皆様と一緒に作るニュースを目指していきます。友好都市だけでなく、国際交流に関することならどんなことでも構いませんので、どんどん当協会までお寄せください。お待ちしております。

(増田)